

「三文オペラ」参考資料のご案内

新国立劇場でのご観劇前に作品に対する理解の一助として、また、観劇後の感動をさらに深めるために、5階情報センター閲覧室にてご覧いただける参考資料を紹介いたします。ぜひお気軽にお立ち寄りください。

開室時間：10:00～18:00 月曜休室（祝休日及び主催公演日は他曜日に振替）

参考図書

<楽譜>

Die Dreigroschenoper	Universal Edition	2000年発行	フル・スコア
Die Dreigroschenoper	Universal Edition	1972年発行	フル・スコア

<上演台本>

音楽劇 三文オペラ ベルトルト・ブレヒト；クルト・ヴァイル[ほか]＝著／Bunkamura 2009年発行

三文オペラ：劇団俳優座上演台本 俳優座劇場 [2005]年発行

<上演プログラム>

新国立劇場演劇研修所一期生試演会 三文オペラ (2007.5)

二期会オペラ公演 三文オペラ (1988.11)

帝国劇場 三文オペラ (1977.8)

劇団俳優座 三文オペラ (1962)

<作品関連>

三文オペラ ベルトルト・ブレヒト＝著／酒寄進一＝訳／長崎出版 2007年発行

ナチ時代に梵書にあった幻の1928年初版から翻訳した、現代の生きた言葉による新訳版。従来上演台本の底本とされてきた1932年版から一部台詞と歌詞を追加しています

ブレヒト 戯曲全集 第2巻 ベルトルト・ブレヒト＝著／未来社 1998年発行

ブレヒトの出世作。岩淵達治氏による個人全訳版ブレヒト戯曲全集。「三文オペラ」ほか初期の音楽劇を4本収録。「朝日」「毎日」「読売」「東京」等の各紙が絶賛しました。

三文オペラを読む 岩淵龍治＝著／岩波書店 1993年発行

バブル崩壊後の日本社会をリアリズムで描いたかのような辛辣なパロディーです。このテキストの持つ意味と振幅をブレヒト研究の第一者が縦横自在に解き明かします。ブレヒト劇の醍醐味が全冊に満ち溢れた一冊です。

三文オペラ；放蕩児の遍歴 アッティラ・チャンバイ＝編／音楽之友社 1989年発行

ブレヒト/ヴァイルの『三文オペラ』、オーデン/ストラヴィンスキーの『放蕩児の遍歴』という2作品の成立やあらすじを収めたオペラの入門的な一冊です。

オペラで愉しむ名作イギリス文学 福尾芳昭＝著／水曜社 2006年発行

『三文オペラ』、『サロメ』、『海賊』、『ロビンソン・クルーソー』、『湖上の美人』…etc. シェイクスピアに限らずイギリス文学はオペラに多くの題材を提供しています。本書ではその中からオペラファン必聴の26作品を厳選、解説しています。

まんがで読む世界の名作オペラ：8 梅本さちお＝著／未来社 2012年発行

『トリスタンとイゾルデ』、『サロメ』、そして『三文オペラ』を収録した、まんがで読むシリーズの第8巻です。

※関連資料は他にも多数ございます。お気軽にお問い合わせください。